

創刊のご挨拶

喜名信之

滋賀大学教育学研究科長

このたび、滋賀大学大学院教育学研究科において、平成 29 年度に高度教職実践専攻が設立されることにより、「教職実践研究」を創刊することになりました。

教育学研究科（修士課程）は、滋賀県を中心に地域社会の学校教育を担う人材を多数輩出してきました。しかしながら、本研究科（修士課程）設置から四半世紀を迎えようとする現在、現行の体制のなかでは、学校現場や児童生徒の変容にともなう教育課題や教育ニーズに対応するには不十分な状況になりつつあります。現在の新しい教育課題に応えうる高い実践指導力や応用力を有した教員を育成するためには、高度の専門教育の強化や教育方法の改善が必要です。こうした理由から、滋賀大学大学院教育学研究科のさらなる発展を目指し、平成 29 年度に本学教育学研究科（修士課程）の内部に、「高度教職実践専攻」（教職大学院）を新設します。

「高度教職実践専攻」（教職大学院）は、学校マネジメント力の向上に焦点をあてた「学校経営力開発コース」と実践的指導力の養成を目指す「教育実践力開発コース」の 2 コースから構成されます。学生定員 20 名、教員は、研究者教員 8 名、実務型教員 6 名の 14 名で出発します。

新たに発刊することになりました「教職実践研究」は、主に「高度教職実践専攻」に所属（または所属予定）の先生方や院生の皆さんの研究の深化と相互の研究交流を促進することを目指すものです。

本紀要が、ささやかではあれ、学問水準の向上に寄与するとともに、それを通して今日の我が国の教育の向上に貢献することができればこのうえない喜びです。